

歯ぎしり・食いしばり・顎関節症

咬筋ボツリヌス治療

こんな方はご相談ください

・顎関節症の緩和（顎が鳴る・口が大きく開かない・顎が痛む）

・就寝中の歯ぎしりの緩和

・歯ぎしりによる歯の磨滅（擦り減り）抑制

・咬合圧による脱離、破損防止

・食いしばりの緩和

・食いしばりで起こる肩こり、頭痛などの改善

・その他 ガミースマイル改善、口角挙上など



*咬筋肥大とは…

咬筋とは食物を咀嚼する時に使われる筋肉で、かみしめ癖などの食いしばりなどが原因となり、この咬筋が必要以上に発達し肥大（膨張）している状態を咬筋肥大といいます。

咬筋が肥大することにより、顎の痛み、血行不良、ストレス、頭痛、肩こり、エラ張り、むくみなどの原因になる可能性があります。

顎

肩こり

頭痛

*ボツリヌストキシン治療は歯科学会でも発表されている治療です。（日本補綴歯科学会・日本顎関節学会など）